

感察工学研究会特別企画（第5回）
（2018年度第1回（通算30回）感察工学研究会）

研究討論会「瞬目」

日 時：2018年5月18日（金）10:00～13:30
場 所：中央大学 後楽園キャンパス 2号館2階2221号室
〒112-8551 東京都文京区春日 1-13-27

http://www.chuo-u.ac.jp/chuo-u/campusmap/korakuen_j.html

http://www.chuo-u.ac.jp/chuo-u/access/access_korakuen_j.html

連絡先：石井明（香川大学工学部 Tel:087-864-2321(直通) e-mail:ishii@eng.kagawa-u.ac.jp)

（当日連絡先 梅田和昇教授(中央大学理工学部精密機械工学科) TEL: 03-3817-1826)

趣旨：周辺視目視検査法は、高速且つ不良の見逃しが少なく、検査員に眼精疲労を生じさせない究極の検査方法です。本検査法の解明と普及を目指して感察工学研究会が2010年2月に画像応用技術専門委員会に設置されてから8年が経ちました。一番の成果は、目視検査動作の良否に対して脳科学的説明ができるようになったことです。周辺視目視検査法を開発した佐々木章雄氏は、検査員が周辺視目視検査法の習得ができていくかどうかの判断に、一定間隔（2～3秒程度）で出現する瞬目に注目していました。本研究討論会ではなぜ、瞬目が重要であるのか、瞬目研究の第一人者を招聘し、瞬目の謎について討論致したいと思います。

内 容

1. 研究会活動報告

(10:00～10:45)

- 石井委員：研究会活動概要（5分）
- 杉原委員：検査員負荷低減による外観見逃しゼロへの挑戦（10分）
（デンソー北海道の周辺視目視検査法の導入取組）
- 森委員：健康改善の評価（10分）
- 石井委員：周辺視教育訓練システムによる検査員評価（10分）
- 伊藤委員（代理：石井）：周辺視と従来法（中心視）での眼精疲労度の差異の分析（5分）

2. 特別講演「なぜ人は瞬きをするのか？」中野珠実氏

(11:00～12:30)

大阪大学大学院生命機能研究科・医学研究科)

講演要旨：なぜ人は頻回に瞬きをするのか、100年以上前から謎のまま解明されていない。瞬きは映像や会話の切れ目で選択的に生じる。その時、脳や自律神経のネットワークの活動が一過性に交替する。さらに、コミュニケーションにも瞬きは関係している。講演では、これらの発見を紹介し、瞬きの謎に迫る。

講演：50分

討論：40分（討論40分を使ってのミニパネル討論）

ミニパネル討論「(瞬目の多様な役割, 応用) 司会：石井明（香川大学）

- (1)中村俊委員：周辺視目視検査法における瞬目の役割についての脳科学的理解
- (2)佐々木章雄委員：瞬目・サッケード映像からの周辺視目視検査法の習熟度評価

3. ランチ懇親会*1

(12:30～13:30)

※1：ランチ懇親会：ランチをとりながら、目視検査と瞬目との関りについて議論したいと思います。

感察工学研究会委員には弁当を用意します。委員以外の方は、弁当をご持参ください。

※2：午後2時からは親委員会の画像応用技術専門委員会の定例研究会（午後2時～5時）が同場所で開催されます。お時間がありましたらご参加ください。<http://www.tc-iaip.org/research/>